

平成 30 年度
健康科学大学
看護学部
A0 入試 I 期

平成 29 年 8 月 19 日

平成 30 年度健康科学大学看護学部入学試験
小論文試験問題 (AO I 期)

次の文章を読み、あとの問いについて別紙解答用紙に記述しなさい。

「レッドリスト」、あるいは「レッドデータブック」という言葉を目にしたことがあるだろう。レッドとは、①キケンを表す色だが、この場合、絶滅するキケン性が高い野生生物のことをいう。そのリストがレッドリストであり、「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種についてそれらの a. 生息状況等を取りまとめたもの」が「レッドデータブック」で②カンキョウ省が発表している。

絶滅といえば、代表がトキ。国際的な学名が「ニッポニア・ニッポン」であるように、日本を③ショウチョウする鳥だったが、その日本ではついに絶滅してしまった。中国にもわずかしかないが、それを借りて b. 繁殖させようとしている。

トキ絶滅の最大の原因は c. 乱獲だった。だがほかにも、農薬の普及により d. 餌となる虫が減ってしまった、生息していた森林が e. 伐採などでなくなってしまった、などのさまざまな要因もからんでいる。

1981年に佐渡島にいた五羽が日本の最後のトキで、人工繁殖をこころみたが、成功しなかったのである。

あるいは、ニホンオオカミも絶滅したとされている。

危なかったものに、アホウドリがある。かつて伊豆諸島だけでも100万羽いたというが、19世紀後半から20世紀前半にかけて乱獲されたため、一気に減ってしまった。何でも、1000万羽も乱獲されたという。その結果、1949年に一度、絶滅したと宣言されたのだが、その後、わずかに残っていたものを繁殖させることができ、1500羽になるまで回復し、どうにか絶滅を免れた。

このように、乱獲が原因で絶滅しそうな野生生物は多いが、ほかにも、海や大陸を越えての人や荷物の移動が活発になったことが理由で絶滅するものもある。本来の生息地以外の土地にやってきて、そこで繁殖した生物が、他の生物の④テンテキとなって、絶滅させてしまうのだ。

本来の⑤セイタイケイにはないものが、いきなりやってきたため、元からいた生物が、それへの備えができず絶滅してしまうわけだ。

問1. 本文中の下線部①～⑤のカタカナを漢字にしてください。

- ① キケン ()
- ② カンキョウ ()
- ③ ショウチョウ ()
- ④ テンテキ ()
- ⑤ セイタイケイ ()

問2. 本文中の下線部 a. ～ e. の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- a. 生息 ()
- b. 繁殖 ()
- c. 乱獲 ()
- d. 餌 ()
- e. 伐採 ()

問3. 現在、絶滅危惧種の保護は国を挙げて行われているが、絶滅危惧種の問題に関するあなたの考えを 500 字以内で説明してください。

平成 30 年度健康科学大学看護学部入学試験
小論文解答用紙 (AO I 期)

受験番号

氏名

問 1. 本文中の下線部①～⑤のカタカナを漢字にしてください。

① キケン ()

② カンキョウ ()

③ ショウチョウ ()

④ テンテキ ()

⑤ セイタイケイ ()

問 2. 本文中の下線部 a. ～ e. の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

a. 生息 ()

b. 繁殖 ()

c. 乱獲 ()

d. 餌 ()

e. 伐採 ()

解答例と採点基準

問1. 本文中の下線部①～⑤のカタカナを漢字にしろ。

配点 4点×5=20点

- ⑥ キケン (危険)
- ⑦ カンキョウ (環境)
- ⑧ ショウチョウ (象徴)
- ⑨ テンテキ (天敵)
- ⑩ セイタイケイ (生態系)

問2. 本文中の下線部 a.～e. の漢字の読みをひらがなで書け。

配点 4点×5=20点

- a. 生息 (せいそく)
- b. 繁殖 (はんしょく)
- c. 乱獲 (らんかく)
- d. 餌 (えさ)
- e. 伐採 (ばっさい)

問3. 現在、絶滅危惧種の保護は国を挙げて行われているが、絶滅危惧種の問題に関するあなたの考えを500字以内で説明せ。

配点 60点

採点基準：

1. 文字数 10点

- 450字から500字 10点
- 400字から449字 8点
- 350字から399字 6点
- 300字から349字 4点
- 250字から299字 3点
- 200字から249字 2点
- 199字以下 0点

2. 正しい語句の使用 10点

- 誤字・脱字 1個につき1点減点(同じ文字の間違いは1回のみ減点)
- 最多10点まで減点できる

3. 文章の構成・表現力 20点

起承転結、段落分け、句読点などが適切に使われているか、ひらがなばかりの文章になっていないかに着目する。以下の基準による5段階評価とする。

とても優れている：20点

優れている：15点

普通：10点

不足している：5点

まったく不足している：0点

4. 論旨の展開 20点

一貫性、独創性、経験、一般的知識の4つの観点から評価する。

問題文中の文章を多用している場合(問題文の書き写しなど)は5点の減点対象とする。

とても優れている：20点

優れている：15点

普通：10点

不足している：5点

まったく不足している：0点